U.S. Indicators

発表日：2024 年 11 月 19 日（火）

10 月 ISM 非製造業景気指数はハリケーン襲来の影響で上昇

～ISM 景気指数は米経済の秩序だった減速を示す～

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 桂畑 誠治（TEL：050-5474-7493）

24 年 10 月のＩＳM非製造業景気指数（総合、季節調整値）は、56.0（前月 54.9）と市場予想中央値の 53.8(筆者予想 54.5)への低下に反して前月比 1.1%ポイント上昇した。活動指数、新規受注が低下したものの高い水準を維持するなか、雇用、入荷遅延が上昇した。ただし、入荷遅延はハリケーン襲来や港湾ストの影響で上昇しており、非製造業部門は 22 年をピークに緩やかな減速傾向を辿っていると判断される。米国では、製造業部門の調整が長期化するなかで、非製造業部門の拡大ペースの緩やかな鈍化によって、秩序だった景気減速が続いている。

調査対象企業のコメントでは、「政治的不確実性に対する懸念は先月よりも広がっている」と米大統領・議会選挙への懸念を強めていたことが指摘された。また、10 月 3 日に米港湾労働者組合の国際港湾労働者協会（ＩＬＡ）と雇用者団体の米海運連合（ＵＳMX）が、6 年間に 62%の賃金引き上げで暫定合意し、10 月 4 日から港湾が再開された。約半世紀ぶりの大規模ストライキ（東海岸とメキシコ湾岸の港湾での一斉ストライキ）は 3 日間で終了したものの、ストの影響を回避するためにとった措置によって配送の遅れが生じたほか、相次ぐハリケーン襲来によって、サプライチェーンが混乱したことが指摘された。

非製造業総合指数の構成項目では、活動指数が 57.2（前月 59.9、前月比▲2.7%ポイント）、新規受注が 57.4（前月 59.4、前月比▲2.0%ポイント）と大幅に低下した一方、雇用が 53.0（前月 48.1、前月比＋4.9%ポイント）と拡大を示す水準に急上昇したほか、入荷遅延が 56.4（前月 52.1、前月比＋4.3%ポイント）と大幅に上昇した。

10 月の活動指数では、拡大した業種が 18 業種中 9 業種(前月 12 業種)に減少したが、縮小した業種が 2 業種（同 3 業種）にとどまっており、非製造業活動は堅調さを維持している。また、新規受注は 18 業種中 12 業種(前月 11 業種)の拡大、3 業種（同 3 業種）の縮小と選挙後の需要加速が示唆された。一方、雇用では季節労働者が増加したほか、入荷遅延はハリケーン襲来、港湾ストの影響で上昇した。

総合指数への寄与度では、活動指数が前月比▲0.67%ポイント、新規受注が前月比▲0.50%ポイントの押し下げ寄与となったものの、雇用が前月比＋1.23%ポイント、入荷遅延が前月比＋1.08%ポイントの押し上げ寄与となった。

サブ項目では、新規輸出受注が 51.7（前月 56.7、前月比▲5.0%ポイント）と大幅に低下し、サービス輸出の増加ペースの大幅鈍化が示された。一方、輸入は 50.2（前月 52.7、前月比▲2.5%ポイント）と低下し、サービス輸入の増加幅が小幅縮小したことを示した。

インフレ環境では、仕入価格指数が 58.1（前月 59.4）と小幅低下したが、18 業種中 15 業種（前月 12 業種）が上昇しており、インフレの下げ渋りが示唆された。石油製品、燃料が下落した一方、労働

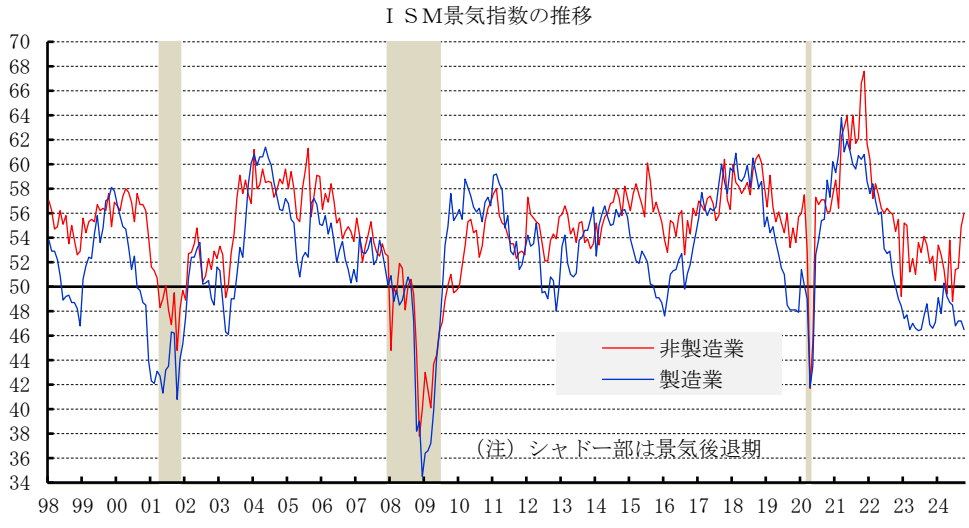
コストの継続的な上昇のほか、コンテナ、銅線、鉄鋼製品等が上昇した。供給不足の分野として、電気機器、変圧器のほか、労働、建設請負業者が挙げられた。

ＩＳＭ非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	在庫変動
24/01	53.4	55.8	55.0	50.5	52.4	51.4	64.0	56.1	49.1
24/02	52.6	57.2	56.1	48.0	48.9	50.3	58.6	51.6	47.1
24/03	51.4	57.4	54.4	48.5	45.4	44.8	53.4	52.7	45.6
24/04	49.4	50.9	52.2	45.9	48.5	51.1	59.2	47.9	53.7
24/05	53.8	61.2	54.1	47.1	52.7	50.8	58.1	61.8	52.1
24/06	48.8	49.6	47.3	46.1	52.2	44.0	56.3	51.7	42.9
24/07	51.4	54.5	52.4	51.1	47.6	50.6	57.0	58.5	49.8
24/08	51.5	53.3	53.0	50.2	49.6	43.7	57.3	50.9	52.9
24/09	54.9	59.9	59.4	48.1	52.1	48.3	59.4	56.7	58.1
24/10	56.0	57.2	57.4	53.0	56.4	47.7	58.1	51.7	57.2

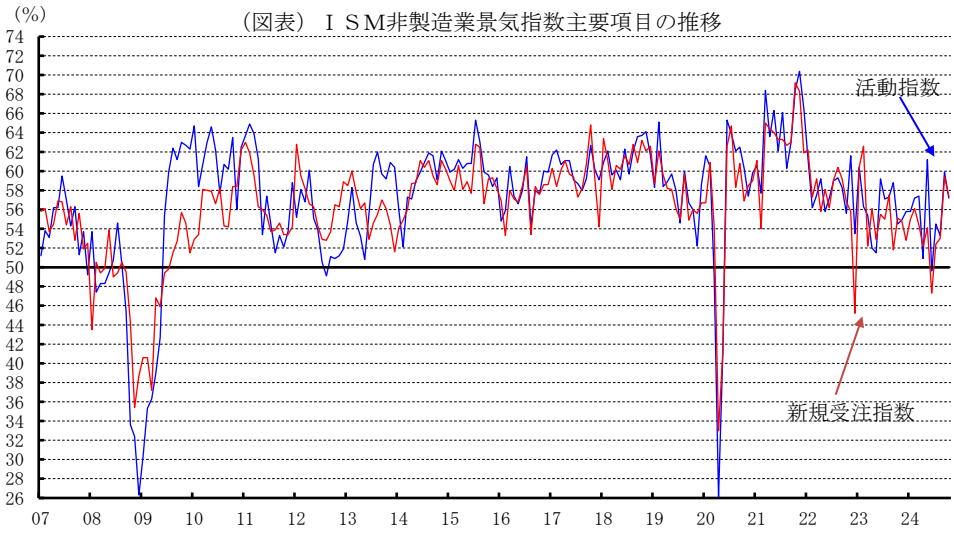
10 月に拡大した業種数は、18 業種中 14 業種（前月 12 業種）と増加した。拡大した業種は、強い順に、小売業、情報産業、運輸・倉庫、宿泊・飲食サービス、金融・保険、建設業、鉱業、公的部門、公益、不動産・賃貸・リース業、教育サービス、専門・科学・技術サービス、医療・社会支援、卸売業と続いた（下線は拡大・縮小が２カ月以上続いたことを示す）。一方、縮小した業種は、企業向けサービス、その他サービスの 2 業種（前月 5 業種）に減少した。なお、芸術・娯楽・レクリエーション、農林水産業は変わらずとなった。

米国経済全体の景気動向を示す「ＩＳＭ総合景気指数（非製造業景気指数と製造業景気指数の合成）」は、10 月に 55.1（前月 54.1）と上昇し、拡大ペースの加速が示された。四半期では、10-12 月期の製造業が 46.5 と 7-9 月期の 47.1 を下回った一方、非製造業が 56.0 と 7-9 期の 52.6 を上回った。この結果、10-12 期のＩＳＭ総合景気指数は、55.1 と 7-9 月期の 52.0 から上昇しており、10-12 月期の米景気が減速しているものの堅調さを維持していることを示している。



（出所）ＩＳＭより第一生命経済研究所作成

（図表） ＩＳＭ非製造業景気指数主要項目の推移



（出所）ＩＳＭデータより作成

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。